



令和6年9月

# 桃山中学校ハッピー桃太郎だより

～誇りのもてる学校をめざして～



## 『9月の取組について』

校長 谷川 正己

「過去最も暑い夏」と言われた今年の夏でしたが、2学期がスタートしてもまだまだ残暑のきびしい9月を迎えています。今学期もよろしくお祈いします。

運動会を5月に実施したことから、9月に3年生の修学旅行、同時期に1・2年生はふるさと学習を行います。総合や学活の時間を使って、それぞれ事前の学習や準備を整えているところです。

3年生は18日から二泊三日で長崎・熊本方面に出発します。中学校生活の良き思い出づくりになるように、事故なく皆で楽しく研修してきてほしいと願っています。

2年生は、今年から新たに「職場訪問」を実施します。校区内にある事業所を地域の方から紹介していただき、班別に別れ事業所に見学に赴き、インタビューなどを通して自分が興味をもった職業について学び、レポートにまとめる予定です。ご協力いただいた事業所および地域の皆様に深く感謝いたします。

1年生は、二つの活動を通して地域の文化を学びます。一つは「桃中ウォークラリー」で、校区内の史跡を班別に巡り、歴史について学びます。また、野外彫刻作品が多く点在している校区の強みを生かし、芸術鑑賞という視点も加えた学びを行います。

二つ目の取組は「宗隣寺座禅体験」です。国の名勝として名高い龍心庭のある宗隣寺へクラスごとに訪問し、和尚様に説法いただき、座禅を体験します。学校外の落ち着いた場所で自分を見つめることは、さらなる成長につながる良き機会となることでしょう。快くお引き受けいただきました宗隣寺の皆様にも深くお礼申し上げます。

このように、地域の人材、資源を生かした地域学習に取り組むことは、本校の教育目標「ふるさとを愛し、夢の実現に向けて自ら学び続ける生徒の育成」につながる取組となります。今後も地域と共に子どもを育むことをめざした教育活動を推進していきたいと思ひます。

また、報告となりますが、8月に行われた新川地区、小羽山地区の夏祭りに大変多くの生徒がボランティアとして活躍しました。今年度新設したボランティア部の生徒を中心に、事前の準備や翌日の後片付けまで延べ100名の生徒が、地域の大人の方と協働し、ねぎらいや感謝の言葉を伝えられました。将来、地域を担う大人になるための良い経験となったと思ひます。

